



第45回 毎日こどもピアノコンクール 札幌地区予選 小学校5年生の部

審査員講評 まつばら き み こ
松原寄美子先生 (当番審査員)

予選72組の演奏を聴かせて頂きました。

皆さん熱心な指導を受けられ良く勉強されていたと思います。

審査会議の中で取り上げられていた事項についてお伝えします。

◎インヴェンション シンフォニア

バロック時代の楽器をふまえ ロマンスタイルのような表現にならないよう注意

急激なダイナミックスの変化の表現に注意

調性、音程の変化にも耳を傾ける

横の流れと共に縦のハーモニー 和音進行にも耳を傾ける

音質を揃え 曲全体に統一感があるように

◎メヌエット ポロネーズ アレグロ

右手はそれぞれ表現されていたが、左手に問題を感じる演奏があった

拍感を意識しすぎた為かフレーズが大きく表現されていない

音質を揃える

曲の特徴を表現しているかに注意 → 練習を始めた時に戻ってみる

◎印象に残る演奏

生き生きとしたリズムが伝わる

統一感がある

左手の完成度が高い

フレーズの変化 音の方向性を意識され表現している

これからの演奏又は次のステージの手助け、ヒントになると嬉しいです。

自分の目標を見つけ頑張ってください。

審査員一同 皆さんの演奏を聴くのを楽しみにしています。



第45回 毎日こどもピアノコンクール 札幌地区予選 小学校5年生の部

審査員講評 くどう ま き こ
工藤真樹子先生 (当番審査員)

小学5年生の皆さん、素晴らしい演奏をありがとうございました。
全体として、楽譜をよく読み込み、それぞれの曲に真摯に向き合って演奏している様子が伝わってきました。技術的にも整った演奏が多く、日頃の積み重ねを感じました。

■古典派作品

古典派では、整った演奏が多く聴かれました。変奏曲は、それぞれの変奏だけでなく、一つの大きな作品として捉え、どこで大きく呼吸をし、音楽を展開していくかを考えると、よりまとまりのある演奏になります。

また、ベートーヴェンでは、楽譜をよく読み、作品のキャラクターを表現しようとする演奏が印象的でした。さらに、管弦乐的な響きや声部の動きを意識すると、音楽に一層の奥行きが生まれるでしょう。

■ロマン派作品

ロマン派では、ブレスやペダルの切り替えが十分に整理されていない演奏も見受けられました。テンポの揺れだけでなく、フレーズの終わりや場面転換を意識し、自然な呼吸とペダリングで音楽をつないでいきましょう。

■近現代作品

近現代作品では、ルバートは揺らし過ぎず、拍の流れを感じながら表現することが大切です。また、《タランテラ》では独特のアクセントやリズムのニュアンスなど、作曲家や時代の特徴を捉えた演奏が期待されます。

■最後に

音を大切に扱う演奏は、客席や審査員にも必ず伝わります。メロディーと伴奏のバランス、和声の響き、フレーズの始まりと終わりまで心を配り、一音一音を大切に紡いだ演奏は、とても心を打つものでした。

小学5年生は大きく成長する時期です。今回の経験を糧に、来年はさらに成長した姿で挑戦されることを楽しみにしています。

本選に進まれる皆さんは、さらに音楽の奥深さや表現の幅を追求し、磨かれた演奏を聴かせてくださることを期待しております。皆さんの今後のご活躍を心より願っております。

小学校5年生の部

並びは演奏順です

第45回 毎日こどもピアノコンクール
札幌地区予選



熊木未央
辻夕桔乃
関口奏那

齊藤夏
川岸滢歩



横井優菜
高木萌花
村橋侑菜
坪島実和

登坂茉依
清水彩子
木下七美
藤田陽菜子



藤生彩愛
千葉莉子
水葉緒花
山下柊哉
阿部華凰

西迫杏恵
福島楓
赤松波音
猫沖碧音

小学校5年生の部

並びは演奏順です

第45回 毎日こどもピアノコンクール
札幌地区予選



永平結美

丹野佐保

北見心結花

芳野芙優子

熊沢茉帆

阿部海生

福島慧美

華輪依奈

能登原美結

野原みつぎ

干場仁奈

山崎華純

大谷玲央奈

作村琉央

三上蒼介



伏見柚希

庄田理乃

入江紬

祖父江莉歩

齋藤仁希

成田夕穂

溝渕結貴

南部さくら

馬場雛子

松井桜

水野花菜

千葉ひなた

山田理生

加藤桜子

渡辺和葉